



IPU 農産物価値創造 プロジェクト

IPU・環太平洋大学
経済経営学部現代経営学科
大池研究室



わたしたちが考える課題

単発的、単年度の取り組みになりがち

取り組みによる課題解決

規格外野菜など農産物の価値創造

学生による持続可能な取り組み

昨年度までの取り組み①

興陽 × IPU × 輪島
きゅうりのバスソルト

興陽高校産 きゅうりエキス × 能登の塩 配合

いいお湯やがいね

ええ香りじゃなあ

きゅうりの香り?...じゃなく
マスカットの香り!

ゆ

興陽高校(岡山)と輪島高校(石川)の2校の高校生とIPU 環太平洋大学経済経営学部(岡山)の大学生が共同開発しました。興陽高校で生産され余剰生産物となった「きゅうり」からエキスを抽出し、「能登の塩」を添加したサステナブルなバスソルトです。岡山を代表するフルーツ「マスカット」の香りとともに、バスタイムをお楽しみください!

※1 きゅうりエキス(保湿成分)
※2 塩化Na(整肌成分)



興陽高校—環太平洋大学—輪島高校

高大連携

新商品フェスタ

環太平洋大学が岡山県立興陽高等学校と石川県立輪島高等学校と共同開発した「きゅうりのバスソルト」をはじめ、各校の開発新商品を1日限り、県の域を超えて全沢の地で販売します

2024

12.28 Sat

※雨天決行 曇天中止 10:00-15:00

会場 近江町いちば館広場

◎石川県金沢市青草町8-8

各校オリジナル開発商品も販売します！



岡山と輪島から
1日限りの
共同出店



3校
共同開発
きゅうりのバスソルト

「きゅうりのバスソルト」の売上の一部は復興支援に充てさせていただきます

【企画】 環太平洋大学経済経営学部

副学長 大池研究室

(岡山県岡山市東区瀬戸町観音寺21)

【出店】 岡山県立興陽高等学校

石川県立輪島高等学校

※本展覧会は岡山県「学生イノベーションチャレンジ推進事業」および、金沢市「金沢市立総合文化センターのバックアップ」により実施しています



興陽 × IPU × 輪島

きゅうりのバスソルト



興陽高校産 第1
きゅうりエキス
×
能登の塩 第2
配合

第1 保護教育
第2 環境教育

IPU環太平洋大学は岡山県立興陽高等学校と石川県立輪島高等学校の高校生と協働で開発した「きゅうりのバスソルト」です。それぞれの想いが詰まったバスソルトで身も心も温まってください。

えー湯じゃけー
いっぺん
入ってみられー



「きゅうり」の香り・・・
ではなく「マスカット」の香り

いい湯やがいねー



お得な12回分で

(税込)

1,000円



近江町いちばでの販売の様子(2024年12月28日)

入浴剤共同開発 「能登を元気に」

能登半島地震（1月）の復興につなげたいと、岡山市の環太平洋大の学生・興陽高の生徒は、被災地・石川・輪島市の輪島高生と共同でバスソルトを開発した。原料に興陽高産キュウリの規格外品と能登特産の塩を使用しており、パッケージには「えきやうりやな」の「えき」が「い」に変わると、岡山の方々の「い」が「え」になるという「えきやうり」のイメージが込められている。金沢市内で販売会を開き、売り上げの一部を輪島高に寄付する。（古川竜也）



輪島高生とオンラインを通して打ち合わせをする環太平洋大生と興陽高生



3校が共同開発した「きょうりのバスソルト」
クマトラペルにある、1個（約12回分）
19日は、岡大・販売会の打ち合わせがあり、オンライン参加した輪島高生は「商品を通じて能登の人は元気だと伝えたい」と力を込めた。
販売会は金沢市の近江町市場で開き、3校の学生、生徒が直接市民や観光客らと交流する。興陽高2年橋本春菜さん16は「手がけた商品が被災地支援につながるのうれしい」、同大6年黒田那由美さん20は「現地で手を取ってもらうことが大切だと、売ること以上に思いを込めた」と意気込んでいる。

実習栽培キュウリ販売で復興後押し
特産の塩活用
実習栽培キュウリ販売で復興後押し
特産の塩活用
実習栽培キュウリ販売で復興後押し
特産の塩活用

実習栽培キュウリ販売で復興後押し
特産の塩活用
実習栽培キュウリ販売で復興後押し
特産の塩活用

輪島高などが開発したバスソルト



能登の塩×岡山のキュウリ

輪島高と岡山市の環太平洋大と興陽高は27日までに、能登の塩と岡山のキュウリを使ったバスソルトを開発した。28日に金沢市内で披露し、販売を始める。今年3月まで金沢学院短大で准教授を務めた環太平洋大の大池淳一准教授は、収益は輪島高へ寄付する考えだとし、「少しでも復興の役に立ちたい」と話した。

バスソルト開発

輪島高などが開発
きょう金沢で披露
市」の入浴剤を開発しており、その際に製造を委託した北陸化成（白山市）から今回も協力を得た。パッケージに輪島と岡山の方言で「いいお湯やがねえ」「えー湯じゃーいっぺん入ってみられー」と記した。お披露目販売会は28日午前10時から近江町いちば館前広場で開かれる。

開いた塩の活用、興陽高は実習で栽培したキュウリの規格外品の利用を提案した。

バスソルトは粉状300g入り（約12回分）で千円。保湿と整肌効果があり、キュウリではなくマスカットの香りがする。環太平洋大は以前、湯郷温泉（岡山県美作

●販路拡大により復興支援の輪が広がる

【店頭販売】

- ・グランパークせとうち農園
- ・岡山トヨタ自動車株式会社東岡山店
- ・岡山ビューホテル
- ・岡山農業高校レストラン

【イベント販売】

【ノベルティとしての活用】



＜グランパークせとうち農園＞



＜岡山トヨタ東岡山店＞

●個包装化へのブラッシュアップ



昨年度までの取り組み②



規格外のとうもろこしを使用

トウモロコシの甘みと食感 ジェラート作りました

岡山・興陽高生と環太平洋大生が開発



ジェラートの開発に携わった
興陽高生と環太平洋大生

トウモロコシ本来の甘さとつづつづが
残った食感が特徴のジェラート。興陽高
(岡山市)の生徒が育てたトウモロコシ

の規格外品を原料に、同高生徒と環太
平洋大(同市)の学生が共同で商品開
発した。約300個製造し、一部は岡
山市内にある自動車販売店で販売して
いる。

地域課題の解決に取り組む同大経済
経営学部の大池淳一准教授のゼミ生
が、同高の実習で栽培したトウモロコ
シの規格外品が廃棄されていると聞
き、日持ちのするジェラートの商品化
を提案、5月、共同開発が始まった。

規格外品捨てずに活用

携ったのは、同高農業科3年生8
人と同大1、3年生約30人。細かな粒
のかけらをあえて残すことで、トウモ
ロコシの存在を舌で感じられるように
しようと決め、菓子工房の佳豊庵(吉
備中央町)にトウモロコシの加工を、
難波牧場(倉敷市)にジェラートの製

造をそれぞれ依頼。口当たりが優しく、
素材本来の甘さを味わえるように仕上
げた。

1個(100ミリ入り)400円。

カップのふたにはトウモロコシをモチ
ーフに考案したキャラクターや、各校
のマスコットをあしらった。

商品は7月26日に岡山桃太郎空港



規格外のトウモロコシを活用したジェラ
ート。素材の食感や風味を引き出した

(岡山市)であった「エアポートフェ
スタ2025」でお披露目した後、岡
山トヨタ自動車東岡山店(同市)で扱
っており、両校が参加するイベントで
も販売する。

同大の栗田晃輔さん(20)は「みんな
で意見を交わし、トウモロコシの良さ
を生かした商品ができた」、同高の白
江翠葉さん(18)は「大切に育てた作物
を捨てずに活用できてうれしい。多く
の人に食べてほしい」と話している。

同高大は、改良して来年以降の継続
販売を目指すほか、他の野菜の規格外
品も商品化を検討している。

(古川電聖)



日焼けしたかぼちゃを使用

昨年度までの取り組み③



興陽高校(岡山) 柏木農業(青森)：2校のトマト
輪島高校(石川)：能登の塩
IPU・環太平洋大学:総合プロデュース



昨年度までの取り組み④

小松どんどん祭り協カイベント



輪島高校の関係者も来場！

サイエンスヒルズこまつ 10月12日(日)

どんどんまつり協カイベント

観たい方は
そのまま
フューチャーラボ
へ行ってね

10:00~10:30 10:50~11:20
12:10~12:40 14:00~14:30
サイエンスショー 無料

場所
フューチャーラボ

10:00~12:00 しゴロボットと遊ぼう 無料
加賀高校 家庭クラブ
10:00~13:00 お好みどんビー 250円
スナックどんビー 100円
セット 300円
小松工業高校 少特奇夢法部
13:00~13:20 14:00~14:20
少特奇夢法演試披露

場所
エントランス

小松高校 科学系部活動
12:00~12:30
13:30~14:00
究める実験教室
100円
集まった体験材料は、
能登復興のために
寄付します。

場所
Bホール

小松大谷高校 生物部
12:30~13:30
スライムづくり100円

小松大谷高校 アートクラブ部
10:00~14:00 アロマバスボムづくり 100円
ビーズスライスレットづくり 300円
雑貨販売

場所
Aホール

小松市立高校 美術部
12:30~13:30
絵顔絵 100円

小松大谷高校 インターアクト-DC部
10:00~12:00 木のブロックを作ろう 1000円
つばけろ！自分だけの魚 500円
木のペンデコワールド 500円

場所
前庭

福水洋行 大池研究室
10:00~16:00
輪島高校と
連携して開発した
バスソルトを販売！
10:00~12:00 モルック体験

10:00~16:00 キッチンカー

クワークのパン
生ドーナツ など

いざわ商店
タイムリクティ
冷やし焼き芋
一口ドーナツ など

BBキッチン
豚丼
豚からあげ など

源隆焼と幸ちゃん
焼きそば
おけだこやき
ホデカラ など

昨年度までの取り組み⑤

トマトアグリフードフェアで
ノベルティとして配布！



岡山県展示大商談会

魅力ある
食の祭典

フードマッチングフェア
FOOD MATCHING FAIR 2025

第13回 地方創生
トマトアグリフードフェア

日時 令和7年 11月5日 10:00~17:00

場所 コンベックス岡山 大展示場 (岡山市北区大内田675)

岡山県産業振興財団 トマト銀行 岡山県信用保証協会

この事業は、中小企業地域資源活用推進事業の助成金と
岡山県農林振興局、岡山県商工振興局、岡山県観光振興局の協賛を受けて実施しています。

昨年度のイノベーションチャレンジ
推進事業からご縁！

昨年度までの取り組み⑥

OKAYAMAハレ活 「ハレ活大抽選会2026」 景品として採用



岡山市の健康ポイント事業
OKAYAMAハレ活プロジェクト！

・IPU×興陽高校×輪島高校の共同開発！きゅうりのバスソルト（3個セット） …50名様

岡山市の学生イノベーションチャレンジ推進事業内の「地域をつなぐIPU Hub Project」で開発したバスソルト。興陽高校で生産された規格外のきゅうりを使用し、石川県輪島高校生のアイデアに基づき能登の塩をプラス。岡山らしくマスカットの香りがします。

今年度の取り組み①

持続可能な取り組みとなるようこれまでの活動を継続

岡山と能登 絆の入浴剤

石川・輪島高生 共同開発の2校訪問

2024年1月1日の能登半島地震を経験した石川県立輪島高校の生徒2人が20日、復興支援の思いを込めたバスソルト（入浴剤）を共同開発した岡山県立高校2校を訪ねた。生徒たちは防災や復興への思いを語り合い、交流を深めた。輪島高2年の中川燦美さんと木村秋仁さんが、興陽高（岡山市）と和気関谷高（和気町）を訪れた。

入浴剤の開発は、環太平洋大学（岡山市）経済学部の大池淳一准教授の研究室による地域連携プロジェクトの一環。大池准教授は地籍のある岡山県立高校の進学の香りの入浴剤を開発。いずれも輪島高生の発案で、配膳の塩を配合した。生徒たちがイベントなどで販売するほか、協賛店に置いてもらうなど、売り上げの一部被災地支援に充てている。

興陽高の交流室には、キュウリを提った農業科野菜コースの3年生11人が参加した。当時、中学年だった木村さんと中川さんは、濃厚な地震直後に撮影した崩れた道路などの写真を示し、避難生活の苦勞を報告した。

木村さんは「料理や寝る場所を提供してもらったり、炊き出しの情報を人伝えに聞いた。災害時は人との助け合いが大事」と話した。中川さんは「モバイル充電器を常に給電できるようにしておくと、普段から防災意識を高めてほしい」と語った。

興陽高の生徒たちは「防災用品の準備や家族と避難経路を話しておくことの大切さがわかった」と感じを話していた。【石川勝巳】

能登半島地震の経験を訪す中川燦美さん（左）と木村秋仁さん—岡山市南区の県立興陽高校で



輪島高校の生徒を岡山へ招待

<2026年9月30日付毎日新聞>

今年度の取り組み②

持続可能な取り組みとなるようこれまでの活動を継続



＜しんきん合同ビジネス交流会HPより＞

しんきん合同ビジネス交流会で
販路拡大を目指して商談

今年度の取り組み③

持続可能な取り組みとなるようこれまでの活動を継続



ミルクと野菜の配合を再調整し美味しさUP！

今年度の取り組み④

あらたな農産物を使用した商品開発に挑戦

現在開発中！



IPU 農産物価値創造 プロジェクト

IPU・環太平洋大学
経済経営学部現代経営学科
大池研究室



ご清聴ありがとうございました